

機器利用技術講習会のご案内

【グロー放電発光分析装置】

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて、中小企業の皆様の新技术・新製品の開発や生産管理・品質管理をお手伝いさせて頂いております。これら試験研究機器の利用可能範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：平成26年 6月 20日 (金)

① 10:15～11:45 ② 15:15～16:45 講習時間は約1時間30分です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 (和泉市あゆみ野2-7-1 TEL: 0725-51-2518)

当日は、講習開始時刻前に、当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内いたします。

◆定 員：各コース (①、②とも) 3名まで

※ 受講票は発行いたしません。定員を超えたときは、お断りする方のみ、ご連絡いたします。

※ 受講にはTRIカードが必要となります。まだお持ちでない方は当日お申し込み頂くことができますので、担当者までお申し出ください(無料)。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独) 大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

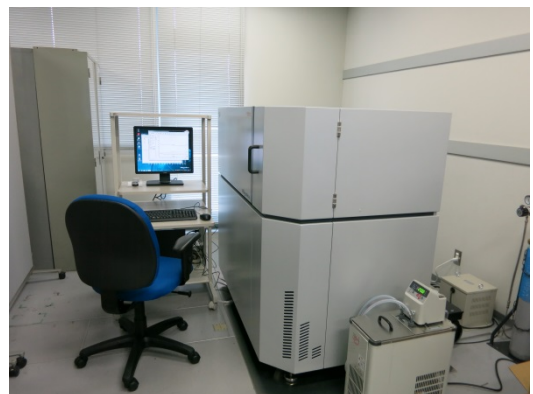
※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひ致します。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせ致します。なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をご案内する「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：グロー放電発光分析装置

工具、金型や各種機械部品の表面には耐摩耗性や耐食性などの特性を改善するために、さまざまな表面処理が行われています。また、電子材料においても高機能化をめざして、各種の薄膜材料が開発されています。グロー放電発光分析装置はグロー放電で試料をスパッタリングし、スパッタされる原子の発光を分光することにより、表面処理材や薄膜材料の深さ方向の元素分布を測定する表面分析装置です。絶縁被膜も迅速に分析でき、しかもH、B、C、N、Oなどの軽元素も容易に分析できる分析方法として注目されています。

本講習会では、グロー放電発光分析の基本原理や装置の特徴についてわかりやすく説明するとともに、当所の試料を用いて実際の操作方法を解説します。また、依頼試験や機器開放のご相談にも対応いたします。



◆講習担当：(地独) 大阪府立産業技術総合研究所 (TEL 0725-51-2518)

金属表面処理科 研究員 齊藤 誠、主任研究員 上田順弘

